

No. 12-4

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 4

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		27年 4月 日		
事務事業名		景観形成作物栽培事業事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課	係名	産業振興係	
		5-2 人が集うまちをつくる						シート作成者				
	施策	5-2-1 観光戦略の展開						予算費目	会計	一般		
		① 観光・交流資源の充実・活用							款	6		
主要施策							項		1			
							目		3			
個別計画名												
住民との関わり		パブリックコメント制（施策・事業案に対する意見聴取）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				景観形成作物を栽培することにより、町のイメージを高め、地域活性化を図る。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		転作田を利用し、景観形成作物（コスモス）の栽培により、観光資源の副次的効果を狙い、田園アメニティの向上及びイベント事業を行うことにより、地域の活性化に貢献します。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～ 平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等												
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		2,516			2,651			2,663				
財源内訳	国庫支出金	0			0			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	0			0			0				
	その他特定財源	0			0			0				
	一般財源	2,186			2,255			2,267				
直接事業費（千円）A		2,186			2,255			2,267				
人件費（千円）B		330			396			396				
内訳	一般職員（人・千円）	0.05 人	330	0.06 人	396	0.06 人	396					
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0					
成果指標	成果指標名			単位	26年度		27年度	28年度				
					目標	実績	（目標）	（目標）				
	①	コスモスまつり来場者数(延べ)		人	5,000	4,000	5,000	5,000				
	②											
③												
説明	コスモスの開花に合わせてイベント事業を行うなど、町のPRを広域的に情報発信し、イメージアップと更なる来場者数の増加を図ります。											

事業名	景観形成作物栽培事業事務	シート作成課	産業課
-----	--------------	--------	-----

一次評価者	産業課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	景観事業と観光事業が連携できる最も有効な事業と言えます。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	中部公園（役場）周辺及び東員駅周辺を拠点として作付けすることで、中部公園や鉄道の相互利用が可能となり、来場者の利便性も図られます。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	農地の景観面から観光事業の一つとして毎年実施することにより、町内はもとより町外からも多くの人々が訪れるようになり、町のPRに役立っています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	景観形成と観光事業の連携により、町のイメージアップ効果が高まっています。

本事務事業の実施適切性の説明

町のイメージを高める上でも重要な役割を担っています。また、コスモスの開花に合わせて観光振興団体による「コスモスマつり」を実施することで、町内外へ町のPRを図るなど、事業効果は非常に高いものであります。

一次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	評価	4	4	3	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
今後の改革・改善目標	本事業は、農地性の維持並びに自然環境の保全と合わせて、地域景観の向上による町のイメージアップに欠かすことができないものでありますが、町の単独事業であるため、財政面での負担がかかっています。今後は、国・県の助成制度などを模索し、町費削減に努める必要があります。					

二次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	評価	4	4	3	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
コメント	景観形成作物を作付けすることにより、町のイメージアップ及び農地の保全に効果的の事業と言えます。今後は、農業を取り巻く環境との調和を図りつつ、新たな観光資源の発掘と活性化に努め、地域住民の憩い・潤いの場、交流の場の提供が必要と考えます。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する	
------------	------	----	------	---	------------	--